

SDGs未来都市について

令和元年12月19日（木）

SDGs未来都市並びに自治体SDGsモデル事業について

概要

- 中長期を見通した持続可能なまちづくりのため、地方創生に資する、地方自治体によるSDGsの達成に向けた取組を推進していくことが重要。
- SDGs推進本部会合における安倍総理指示を踏まえ、地方創生分野における日本の「SDGsモデル」を構築していく。
- 2018年6月自治体によるSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する29都市を「SDGs未来都市」として選定。また、特に先導的な取組10事業を「自治体SDGsモデル事業」として選定。2019年には、31都市を「SDGs未来都市」、10事業を「自治体SDGsモデル事業」として選定。
- 今後、これらの取組を支援するとともに、成功事例の普及展開等を行い、地方創生の深化につなげていく。

SDGs未来都市

- ✓ SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、**経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域**として選定

自治体SDGsモデル事業

- ✓ SDGs未来都市の中で実施予定の先導的な取組として選定
- ✓ 地方公共団体によるSDGsの基本的・総合的取組の中でも特に注力的に実施する事業であり、**SDGsの理念に沿った統合的取組により、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い先導的な取組であって、多様なステークホルダーとの連携を通し、地域における自律的好循環が見込める事業**

成功事例の普及展開

自治体SDGs推進関係省庁タスクフォースによる省庁横断的な支援（計画策定・事業実施等）

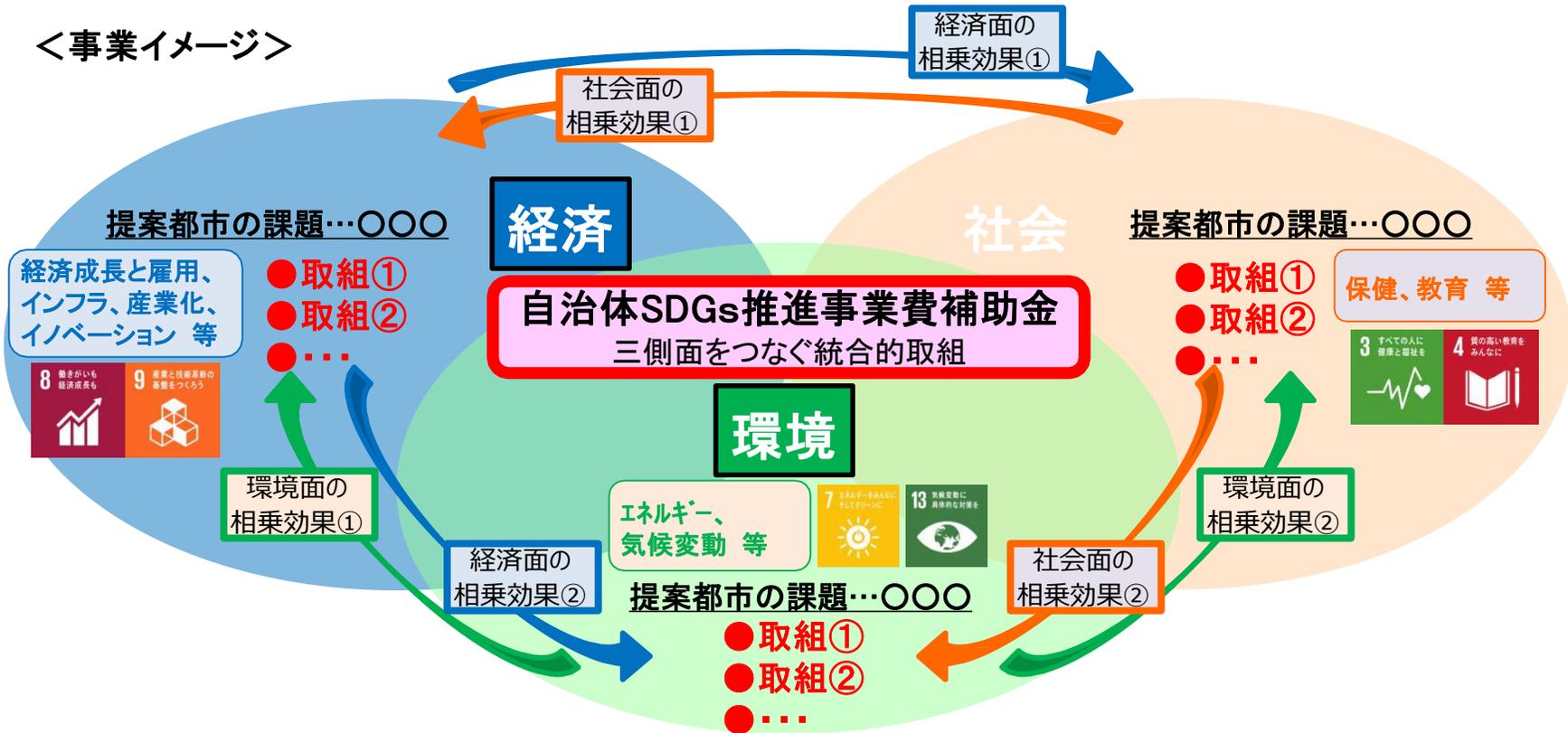
持続可能なまちづくり

自治体SDGsモデル事業の概要

モデル事業とは

SDGsの理念に沿った統合的取組により、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い先導的な取組であって、多様なステークホルダーとの連携を通し、地域における自律的好循環が見込める事業を指す。

<事業イメージ>



SDGsのゴールについては、提案都市の課題に応じて選択



平成30年度・令和元年度 SDGs未来都市等 選定都市一覧

平成30年度選定（全29都市） ※都道府県・市区町村コード順

都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名
北海道	★北海道	静岡県	静岡市
	札幌市		浜松市
	二セコ町	愛知県	豊田市
	下川町	三重県	志摩市
宮城県	東松島市	大阪府	堺市
秋田県	仙北市	奈良県	十津川村
山形県	飯豊町	岡山県	岡山市
茨城県	つくば市		真庭市
神奈川県	★神奈川県	広島県	★広島県
	横浜市	山口県	宇部市
	鎌倉市	徳島県	上勝町
富山県	富山市	福岡県	北九州市
石川県	珠洲市	長崎県	壱岐市
	白山市	熊本県	小国町
長野県	★長野県		

※黄色網掛けは「自治体SDGsモデル事業」選定自治体

※★はSDGs未来都市のうち都道府県

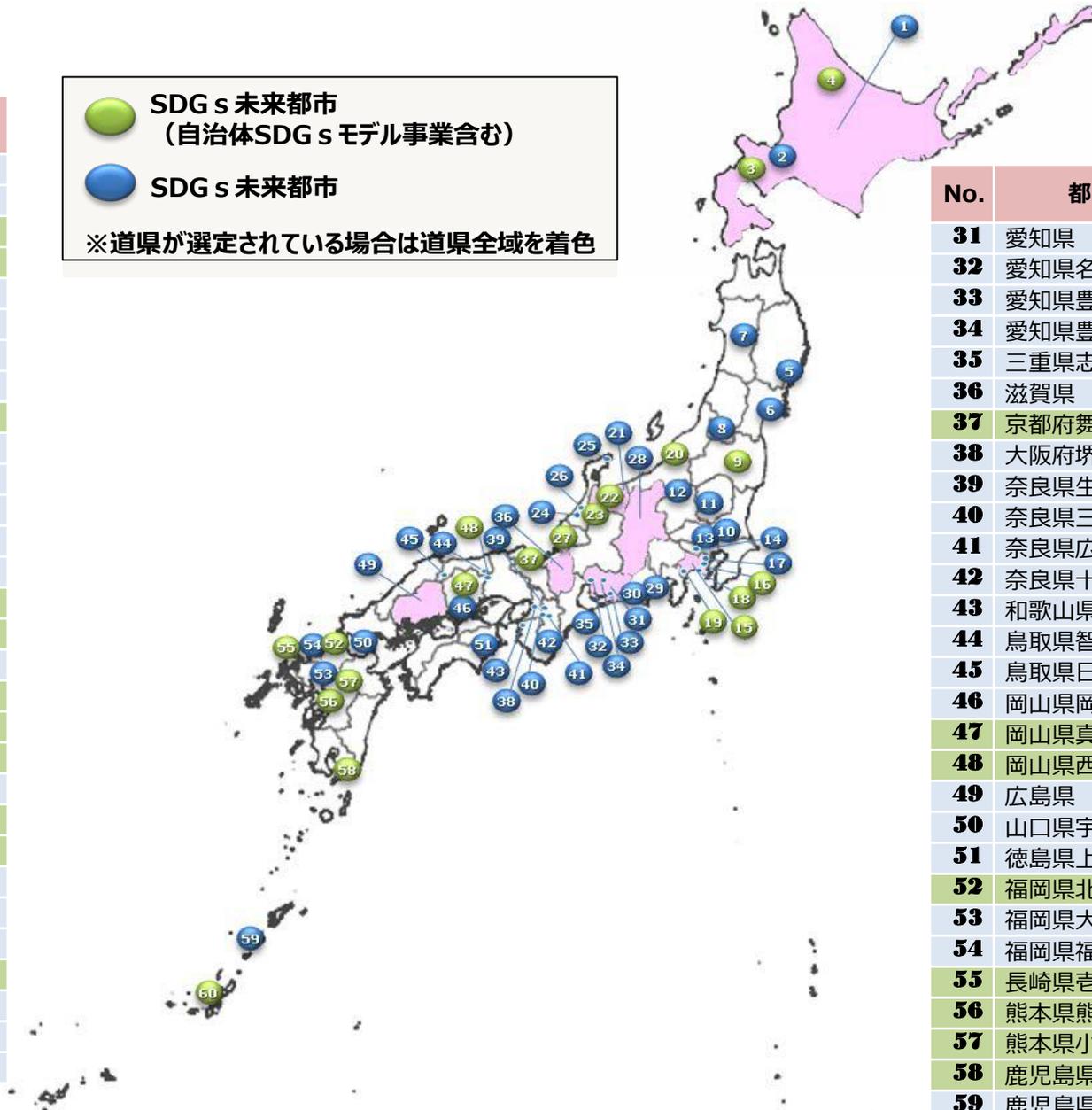
令和元年度選定（全31都市） ※都道府県・市区町村コード順

都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名
岩手県	陸前高田市	滋賀県	★滋賀県
福島県	郡山市	京都府	舞鶴市
栃木県	宇都宮市	奈良県	生駒市
群馬県	みなかみ町		三郷町
埼玉県	さいたま市		広陵町
東京都	日野市	和歌山県	和歌山市
神奈川県	川崎市	鳥取県	智頭町
	小田原市		日南町
新潟県	見附市	岡山県	西粟倉村
富山県	★富山県	福岡県	大牟田市
	南砺市		福津市
石川県	小松市	熊本県	熊本市
福井県	鯖江市	鹿児島県	大崎町
愛知県	★愛知県		徳之島町
	名古屋市	沖縄県	恩納村
	豊橋市		

平成30年度・令和元年度 SDGs未来都市等 選定都市一覧

No.	都市名	選定年度
1	北海道	2018
2	北海道札幌市	2018
3	北海道ニセコ町	2018
4	北海道下川町	2018
5	岩手県陸前高田市	2019
6	宮城県東松島市	2018
7	秋田県仙北市	2018
8	山形県飯豊町	2018
9	福島県郡山市	2019
10	茨城県つくば市	2018
11	栃木県宇都宮市	2019
12	群馬県みなかみ町	2019
13	埼玉県さいたま市	2019
14	東京都日野市	2019
15	神奈川県	2018
16	神奈川県横浜市	2018
17	神奈川県川崎市	2019
18	神奈川県鎌倉市	2018
19	神奈川県小田原市	2019
20	新潟県見附市	2019
21	富山県	2019
22	富山県富山市	2018
23	富山県南砺市	2019
24	石川県小松市	2019
25	石川県珠洲市	2018
26	石川県白山市	2018
27	福井県鯖江市	2019
28	長野県	2018
29	静岡県静岡市	2018
30	静岡県浜松市	2018

● SDGs未来都市
 (自治体SDGsモデル事業含む)
● SDGs未来都市
 ※道県が選定されている場合は道県全域を着色



No.	都市名	選定年度
31	愛知県	2019
32	愛知県名古屋市	2019
33	愛知県豊橋市	2019
34	愛知県豊田市	2018
35	三重県志摩市	2018
36	滋賀県	2019
37	京都府舞鶴市	2019
38	大阪府堺市	2018
39	奈良県生駒市	2019
40	奈良県三郷町	2019
41	奈良県広陵町	2019
42	奈良県十津川村	2018
43	和歌山県和歌山市	2019
44	鳥取県智頭町	2019
45	鳥取県日南町	2019
46	岡山県岡山市	2018
47	岡山県真庭市	2018
48	岡山県西粟倉村	2019
49	広島県	2018
50	山口県宇部市	2018
51	徳島県上勝町	2018
52	福岡県北九州市	2018
53	福岡県大牟田市	2019
54	福岡県福津市	2019
55	長崎県壱岐市	2018
56	熊本県熊本市	2019
57	熊本県小国町	2018
58	鹿児島県大崎町	2019
59	鹿児島県徳之島町	2019
60	沖縄県恩納村	2019

平成30年度 自治体SDGsモデル事業 選定都市一覧

都市名	提案タイトル
北海道ニセコ町	環境を生かし、資源、経済が循環する自治のまち「サステナブルタウンニセコ」の構築
北海道下川町	未来の人と自然へ繋ぐしもかわチャレンジ2030
神奈川県	いのち輝く神奈川 持続可能な「スマイル100歳社会」の実現
神奈川県横浜市	SDG s 未来都市・横浜 ～“連携”による「大都市モデル」創出～
神奈川県鎌倉市	持続可能な都市経営「SDG s 未来都市かまくら」の創造
富山県富山市	コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現
岡山県真庭市	地域エネルギー自給率100% 2030“SDG s”未来都市真庭の実現 ～永続的に発展する農山村のモデルを目指して（私たちがみんな生きるまち）～
福岡県北九州市	北九州市SDG s 未来都市
長崎県壱岐市	壱岐生き対話型社会「壱岐（粋）なSociety5.0」
熊本県小国町	地熱と森林の恵み、人とのつながりがもたらす持続可能なまちづくりを目指して
広島県	SDG sの達成に向けて平和の活動を生み出す国際平和拠点ひろしまの取組を加速する ～マルチステイクホルダー・パートナーシップによるSDG sの取組の強化～
山口県宇部市	「人財が宝」みんなでつくる宇部SDG s 推進事業 ～「共存同栄・協同一致」の更なる進化～
徳島県上勝町	SDG s でSHLs（Sustainable Happy Lives） 持続可能な幸福な生活

都市名	提案タイトル
北海道	北海道価値を活かした広域SDGsモデルの構築
北海道札幌市	次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市・「環境首都・SAPPORO」
宮城県東松島市	全世代グロウアップシティ東松島
秋田県仙北市	IoT・水素エネルギー利用基盤整備事業
山形県飯豊町	農村計画研究所の再興 『2030年も「日本で最も美しい村」であり続けるために』
茨城県つくば市	つくばSDGs 未来都市先導プロジェクト
石川県珠洲市	能登の先端“未来都市”への挑戦
石川県白山市	白山の恵みを次世代へ贈る「白山SDGs 未来都市2030ビジョン」
長野県	学びと自治の力による「自立・分散型社会の形成」
静岡県静岡市	「世界に輝く静岡」の実現 静岡市 5大構想×SDGs
静岡県浜松市	浜松が「五十年、八十年先の『世界』を富ます」
愛知県豊田市	みんながつながる ミライにつながるスマートシティ
三重県志摩市	持続可能な御食国の創生
大阪府堺市	「自由と自治の精神を礎に、誰もが健康で活躍する笑顔あふれるまち」
奈良県十津川村	持続可能な森林保全及び観光振興による十津川村SDGsモデル構想（仮称）
岡山県岡山市	誰もが健康で学び合い、生涯活躍するまちおかやまの推進
広島県	SDGsの達成に向けて平和の活動を生み出す国際平和拠点ひろしまの取組を加速する ～マルチステイクホルダー・パートナーシップによるSDGsの取組の強化～
山口県宇部市	「人財が宝」みんなで作る宇部SDGs推進事業 ～「共存同栄・協同一致」の更なる進化～
徳島県上勝町	SDGsでSHLs（Sustainable Happy Lives） 持続可能な幸福な生活

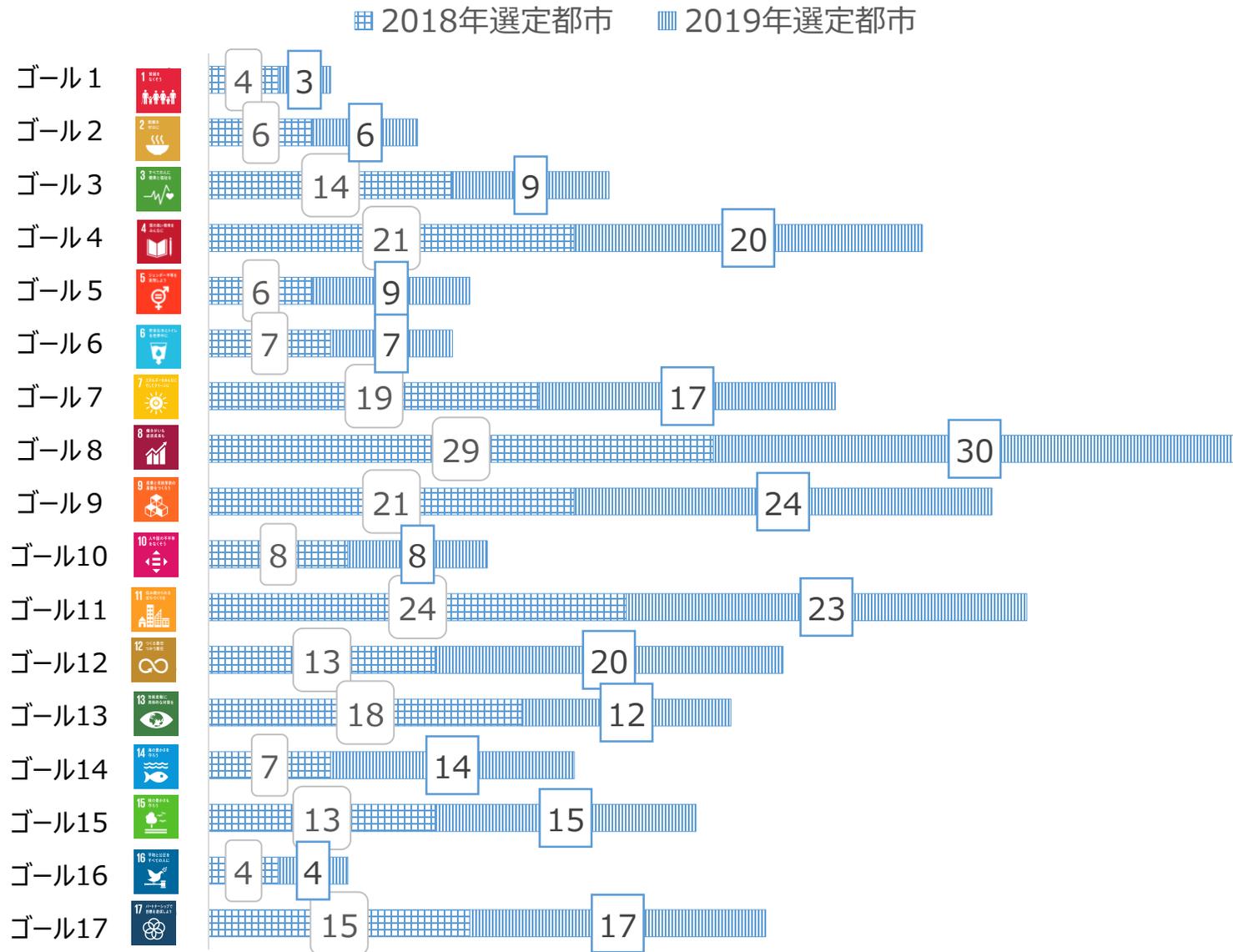
令和元年度 自治体SDGsモデル事業 選定都市一覧

都市名	提案タイトル
福島県郡山市	SDGsで「広め合う、高め合う、助け合う」こおりやま広域圏 ～次世代につなぐ豊かな圏域の創生～
神奈川県小田原市	人と人とのつながりによる「いのちを守り育てる地域自給圏」の創造
新潟県見附市	住んでいるだけで健康で幸せになれる健幸都市の実現 ～「歩いて暮らせるまちづくり」ウォークアブルシティの深化と定着～
富山県南砺市	「南砺版エコビレッジ事業」の更なる深化 ～域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装～
福井県鯖江市	持続可能なめがねのまちさばえ ～女性が輝くまち～
京都府舞鶴市	便利な田舎暮らし『ヒト、モノ、情報、あらゆる資源がつながる“未来の舞鶴”』
岡山県西粟倉村	森林ファンドの活用で創出するSDGs 未来村
熊本県熊本市	熊本地震の経験と教訓をいかした災害に強い持続可能なまちづくり
鹿児島県大崎町	大崎リサイクルシステムを起点にした世界標準の循環型地域経営モデル
沖縄県恩納村	SDGsによる「サンゴの村宣言」推進プロジェクト ～「サンゴのむらづくり 行動計画」の高度化による世界一サンゴと人にやさしい持続可能な村づくり～

※除く自治体SDGsモデル事業選定都市 **令和元年度 SDGs未来都市 選定都市一覧**

都市名	提案タイトル
岩手県陸前高田市	ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくり
栃木県宇都宮市	SDGs に貢献する持続可能な“うごく”都市・うつのみやの構築
群馬県みなかみ町	水と森林と人を育む みなかみプロジェクト 2030 ～持続可能な発展のモデル地域“BR”として～
埼玉県さいたま市	SDGs 国際未来都市・さいたま2030モデルプロジェクト ～誰もが住んでいることを誇りに思える都市へ～
東京都日野市	市民・企業・行政の対話を通じた生活・環境課題産業化で実現する 生活価値 (QOL) 共創都市 日野
神奈川県川崎市	成長と成熟の調和による持続可能なSDGs 未来都市かわさき
富山県	環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県とやま」
石川県小松市	国際化時代に ふるさとを未来へつなぐ「民の力」と「学びの力」～PASS THE BATON～
愛知県	SDGs 未来都市あいち
愛知県名古屋市	SDGs 未来都市 ～世界に冠たる「NAGOYA」～ の実現
愛知県豊橋市	豊橋からSDGs で世界と未来につなぐ水と緑の地域づくり
滋賀県	世界から選ばれる「三方よし・未来よし」の滋賀の実現
奈良県生駒市	いまSDGs 未来都市～住宅都市における持続可能モデルの創出～
奈良県三郷町	世界に誇る！！ 人にもまちにもレジリエンスな「スマートシティSANGO」の実現
奈良県広陵町	「広陵町産業総合振興機構（仮称）」の産官学民連携による安全・安心で住み続けたいまちづくり
和歌山県和歌山市	持続可能な海社会を実現するリノベーション先進都市
鳥取県智頭町	中山間地域における住民主体のSDGs まちづくり事業
鳥取県日南町	第一次産業を元気にする ～SDGs にちなんチャレンジ2030～
福岡県大牟田市	日本の20年先を行く10万人都市による官民協働プラットフォームを活用した「問い」「学び」「共創」の未来都市創造事業
福岡県福津市	市民共働で推進する幸せのまちづくり～津屋崎スタイル～を世界へ発信
鹿児島県徳之島町	あこがれの連鎖と幸せな暮らし創造事業

SDGs未来都市選定都市の取組み状況



(出典) ・2018年度選定都市：内閣府資料

・2019年度未来都市：各自治体の未来都市計画における「2030年のあるべき姿に向けたゴール・ターゲット」

自治体担当者の声

SDGs 未来都市を担当した職員に
下記の点をお伺いしました。

- ①SDGs 未来都市に選ばれたメリット
- ②推進にあたって苦労した点
- ③SDGs 未来都市の取組に期待すること
- ④その他

北海道札幌市

- ① 札幌市がSDGsに取り組んでいることを広く周知できたことや、SDGsに取り組む企業や団体とのネットワークが広がった
- ③ 環境分野をはじめとした取組をSDGs 全体計画として位置づけることで、SDGs に関する取組の事例として示すことができた。
- ④ 北海道内でSDGs 未来都市に選定された自治体（北海道、二セコ町、下川町、札幌市）の担当者間とのネットワークができた。

SDGs は持続可能な世界を作るための共通目標として、様々な企業や市民団体、他の自治体等と連携を深めながら取り組める「接着剤」として活用できます。



モデル事業

北海道下川町

- ① ブランドの向上による、多くの企業や団体からSDGs のビジョンなどについての講演依頼や視察者の増加などにつながった。
- ② 町民へむけたSDGs やビジョンの普及啓発、内容を理解していただき実行につなげていけるのが難しい。
- ③ 政府の選定を受けることにより、信用性が担保され、企業や町内の団体との新たな連携が創出された。

SDGs は様々な企業・団体とつながることができるツールでもあります。地域が抱えている課題を多様な関係者と共に解決する機会を提供してくれます。



北海道

- ① 国や他の未来都市などからSDGs に関する情報提供があったり、有意義な意見交換ができるようになった
- ② 具体的な取組を実施している他部局との連携に苦労した
- ③ 全体計画をとりまとめるに当たり、関係部局にもSDGs を意識してもらうことができた

SDGs の推進にあたっては、各主体による取組はもちろんのこと、各主体の連携が必要不可欠ですので、ともに連携してSDGs を推進していきましょう！



北海道二セコ町

モデル事業

- ① 本町の自治の実践や、自然環境・景観を守る姿勢、地域に根付く「相互扶助」の精神などを改めてPRできた。またそれらに共感いただく様々な方と連携が進んでいる。
- ② モデル事業では、専門家や住民のみなさん等から得られる知見が深く、また情報量も多く、とても勉強になっています。
- ③ SDGs の取組を通じて二セコ町のまちづくりをさらに前進させていきたい。

SDGs の達成を目指したまちづくりは、地方創生（本町では自治創生という）の実現につながるものと実感しています。



宮城県東松島市

- ① SDGs への取組みが概ね好意的に評価され、研究機関や企業等と連携する機会が従来よりも増加した。
- ② 市報や出前講座等を活用し市民の認知度向上を図った。企業向けセミナーを開催する等事業者の取組みを推進した。
- ③ 自治体SDGs の推進が東日本大震災からの創造的復興と地方創生の推進を加速化する期待がある。

「誰ひとりとして取り残さない」というSDGs の理念は、住民の福祉の増進を図るといふ地方自治体の役割に合致します。この取組みを共に進めていきましょう。



スマート防災エコタウン(Taijima地区)

秋田県仙北市

- ① 様々な分野の企業・団体から事業連携の提案。補助金等の申請時、未来都市の優位性。他の未来都市との連携（東北SDGs未来都市サミットの発足）。
- ② 職員、市民、関係者への周知。
- ③ 総合計画の加速化。地域課題の解決。SDGsを軸とした企業・団体との連携。職員の意思統一。

SDGsは、官民の垣根を超え、自治体の圏域を越えて、世界をつなぐ共通のキーワードです。様々な地域課題を解決する起爆剤として、これを上手に活用し、情報を共有し、発信し、共に推進していければと思います。



山形県飯豊市

- ① これまでのまちづくりの取組を後押しできる効果があった。
- ② SDGsに対する住民の理解と意識の醸成を図る点に苦労した。
- ③ 住民に一番近い基礎自治体、また小さな自治体であってもSDGsの理念を推進することを期待する。

SDGsを一つの尺度として、ともに同じ目標に歩んでいけることを期待します。



茨城県つくば市

- ① 知名度の向上により、企業や団体等から問合せが増え、情報交換や連携の機会が増加しました。
- ② 経済・社会・環境の三側面の相乗効果を意識しながら、施策立案等を行うことが困難でした。
- ③ SDGsという共通言語をベースに、庁内外が一丸となって目標に取り組んでいくきっかけになることを期待しました。

SDGsはステークホルダーをつなげる共通言語であり、みんなが同じ目標に向かって進んでいくことができます。皆さんも、ぜひその仲間に入りませんか。



神奈川県

モデル事業

- ① 国から選定いただけたことで、全国的な取組みであることを県民に理解されやすくなり、県がSDGsの取組を進めていくうえで後押しとなった。
- ② SDGsの認知度が低い中で、新規のモデル事業を推進するにあたって、庁内外ともに理解をいただくことに苦労した。
- ③ SDGsをより多くの方々に知っていただける機会となるとともに、SDGsの具体的な取組が成功事例として、共有されることを期待した。

自治体がSDGsに取り組むことで、世界的なPRになるとともに、SDGsを視点に施策事業の位置づけの再整理や、職員のモチベーション向上にも寄与します。



神奈川県横浜市

モデル事業

- ① SDGsを先進的に推進する自治体として、都市のプレゼンスが向上した。
- ② 地域のニーズと企業のシーズを調整し、試行的取組の実現に結びつけたこと。
- ③ 試行的取組が横浜型大都市モデルとして国内外に展開し、SDGsの実現や都市課題の解決に役立つこと。

SDGs未来都市に選定され、市内外の大学、企業、他都市からの注目が集まっており、新たな連携や取組が生まれています。



神奈川県鎌倉市

モデル事業

- ① 選定をきっかけに市民、企業や他の都市など、同じ目標に取り組む方々とのつながりが生まれた。
- ② SDGsの普及促進が進んでおらず、庁内を含め関係者の理解を得るのに時間を要した。
- ③ モデル事業はきっかけであり、様々な取組につながりが生まれ、大きな成果となることに期待する。

SDGsの達成にはローカルな取組が重要であり、地方自治体に求められる役割も大きいと思います。一緒に誰一人取り残さない世界を目指しましょう！



富山県富山市

モデル事業

- ① 国からの人的・財政的支援のほか、SDGsを通じて具体的なプロジェクトを推進するために多様なステークホルダーからの提案や協力を得やすくなった。
- ② モデル事業設定に関する部局間の調整や、環境・経済・社会の三側面の価値統合に係る具体的なKPIの設定に苦労しました。
- ③ 持続可能な都市像を企業や大学、市民ネットワークと議論し、共有しながら、取組を国内外へ発信するプラットフォーム構築を強く意識しています。

SDGsは新しいビジネスチャンスの拡大や、部局を超えて施策を総合的に展開していくための重要なツールになるので、一緒にチャレンジしていきましょう。



石川県珠洲市

- ① 未来都市に選定されたことで、これまでの取組みが改めて評価されたという自信につながった。また、市職員を含め市民のSDGsに対する意識が高まった。
- ② 多様なステークホルダーとの連携について、調整に苦労した。
- ④ SDGsを共通言語とした“人”や“組織”との新たなネットワークを構築することが出来た。

未来における自治体の「ありたい姿」を考えるバックキャストिंगの手法を取り入れることで、明確なビジョンに基づく「まちづくり」が可能になると思います。



石川県白山市

- ① 本市が選定されたことが全国に知れ渡り、県内外の多くの企業等から連携の提案があったこと。
- ② 限られた予算の中で取組みを推進することに苦労している。
- ③ 全国的にも課題である過疎化問題の解決策をSDGsにより見出していきたい。

SDGsは横展開が重要なので、各自治体の成功事例を日本のみならず全世界に広げ、みんなが手を取り合って持続可能な世界を目指しましょう！



長野県

- ① 政策を考える上で、一方的な視点でなく幅広い観点から判断する素地ができた。
- ② 国が示す条件の中で独自性を表すことや財源の手当てに苦労した。
- ④ SDGsと関連した国の事業や補助制度の広がりが進まず、庁内や市町村にメリットを説明しづらい。

SDGsが描く社会像「誰一人取り残さない持続可能な社会」は、行政が目指す社会の姿そのもの。まさに地方創生です。



静岡県静岡市

- ① 国内外から本市の取組に対する視察や問合せ、出講・出稿依頼があり、本市のプレゼンスが向上した。
- ② 市民認知度が低かったため、様々なステークホルダーと連携し、重点的に普及啓発をする「SDGsウィーク」を実施した。
- ③ 「世界に輝く静岡の実現」を加速させるため、有識者からの知見を聴取しながら、SDGsをツールとして活用している。

SDGsは一人の百歩ではなく、百人の一步で取り組むものと考えています。様々なステークホルダーとの連携が大切です。一緒に頑張っていきましょう！



静岡県浜松市

- ① ポテンシャルの高い自治体として認知されたことにより、企業や団体などから連携の提案をいただけるようになった。
- ② SDGsに対する認知度が低い状況において、庁内及びステークホルダーの意識を向上させること。
- ③ SDGsの理念にも通ずる社会を描いた本市の総合計画を、より推進する原動力になること。

SDGs達成のためには、多様なステークホルダーの連携とパートナーシップの構築が重要です。自治体は、その促進に大きく寄与できると信じてください。



愛知県豊田市

- ① SDGsに積極的に取り組む自治体として認知されることで、民間や学術団体など外部機関と情報交換をしたり、市の課題解決に向けて共に取り組むきっかけとなる。
- ② 庁内の合意をとる必要があるが、提出期限が短すぎる。

同じゴールを見据え、いろいろな分野の人々が協力すると、世界をよりよい方向に動かす大きな力が生まれます。どんなミライをつくりたいのか、みんなで目標を共有して、「今、できること」を始めましょう。



三重県志摩市

- ① SDGsに関心を持っている企業や団体からお声掛けいただき、パートナーシップを結ぶことが出来た。
- ② SDGsの意義や内容について、一般の住民の方に理解していただくことが難しく感じた。
- ③ 「御食国」として古くから続く食文化を活かした持続可能なまちづくりを推進していくことを期待した。

それぞれの自治体が特色を活かしてまちづくりを進めていくことが求められる中でSDGsは様々な分野に活用できるツールだと思います。



大阪府堺市

- ① 市民レベルでSDGsの取組が活発化し、本市との連携を求める声も見受けられ、気運醸成が促進されたこと。
- ② 自治体SDGsの全体計画に関する先例がない中、関係各局の理解を得ながら各指標を設定したこと。
- ③ 自治体SDGsの全体計画を策定する自治体が増え、共通の課題に対する自治体間連携が促進されること。

自律的に市民や企業がSDGsに取り組み始める中、SDGsという共通言語を用いて自治体がまちづくりの方向性を示すことは、大きな意義があるものと思料します。



奈良県十津川村

- ① 十津川村の目指す取組について、SDGs未来都市に選定されたことから各種メディア等に取り上げられるなど、全国に情報発信する機会が増えました。
- ② 職員の間でも、SDGsに対する認識の違いがあることに苦労しました。
- ④ 十津川村では、林業と観光業を同時に発展させることを目標としています。SDGsの取組を通じて、PRを行いたいと思います。

SDGsの取組を進めることは、今まで取り組んできた施策を振り返り、リスタートする一つのきっかけになると思います。



岡山県岡山市

- ① 岡山市は2005年からESDに取り組み、選定を機に地域で更に持続可能な社会づくりの活動の輪が広がっています。
- ② 当初は庁内でのSDGsに対する認知が不足しており、まずSDGsを理解してもらったこと。
- ③ SDGs未来都市のネットワークを活用し、連携した取組が国全体に広がり、日本がSDGs先進国となる。

持続可能なまちづくりに取り組む自治体にとって、SDGsは施策を見える化するツールとして活用でき、その自治体のもつ特色が発信できます。



岡山県真庭市

モデル事業

- ① 真庭市の取組が国際的な基準に照らしても正しいことが裏付けられ、多くの方に真庭市を知っていただけた。
- ③ 地域資源を生かした環境配慮型の回る経済の確立など、真庭市が中山間地域の持続的発展のモデルとなること。
- ④ SDGsを合言葉に、様々なステークホルダーとのパートナーシップを構築し、市民運動としてSDGsを推進する。

SDGsは私たちの身近にあるもので、既に様々なことに取り組んでいることだと思います。SDGs達成に向け取組を進め、持続可能なまちをつくっていきましょう！



広島県

- ① SDGs 未来都市に選ばれたことによって、県のSDGs に関する取り組みが、県内に広く周知できた。
- ② 県内企業等のSDGs についての認知度がまだあまり高くなく、まずは認知度向上を図ることから始める必要があった。
- ③ 平和への取組とビジネスを繋げるものとなることを期待している。

企業等のビジネスセクターや、大学、NPO等との連携が、取組を進めるにあたって重要になってくると考えています。



山口県宇部市

- ① SDGs をキーワードに、企業や団体など多様な主体と連携することが可能となった。
- ② 多様で複雑な地域課題に対し、他団体の事例を参照したり、多様な主体と連携しながら、解決を図っている。
- ③ SDGs の取組は地方創生の大きな突破口となり得ることから、本市のすべての政策のベースとしている。

基礎自治体でのSDGs の取組は、地域の課題解決と持続可能な発展に繋がると考えています。是非、SDGs の取組を進め、持続可能な社会を作り上げていきましょう。



徳島県上勝町

- ① これまでの上勝町の取組が日本や世界で目指している方向性と同一であることが明確化された。
- ② SDGs は英語であるため、地域の高齢者に理解してもらうのに苦労している。とにかく広報に特集を組み周知しています。
- ④ 2030年になるとSDGs に取り組んだことでどのように変わったかが問われるので、独自指標の開発などに取組がかりたい。

SDGs は目指すべき目標ではなく、これからの地域づくりのきっかけだと感じます。自らの町のビジョンを再構築し、当事者意識を持って取り組むための足がかりとしてこの機会に共に世界のモデルになりましょう。



福岡県北九州市

モデル事業

- ① 環境国際協力などの取組みが、SDGs を先取りしたものと評価され、都市ブランドの向上につながった。
- ② 6月のモデル事業の選定から、9月補正予算の編成、年度末までの履行と、時間的な余裕がなく大変だった。
- ③ SDGs の取組を通じ、新たな価値の創造に積極的にチャレンジしていきたい。

企業、学校等のSDGs に対する関心が大きく高まっている中、地域でのSDGs の推進には自治体のリーダーシップが不可欠です。まずは庁内推進体制の構築を！

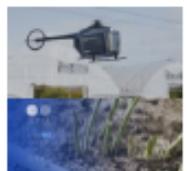


長崎県壱岐市

モデル事業

- ① SDGs の推進に関する先進地として、多くの企業や自治体からの視察等が増えたこと。
- ② モデル事業を推進することに注力がいってしまい、SDGs に関する市民等への周知活動が思うように進んでいない。
- ③ 選定を受けたことで、企業・自治体からの注目度が上がった。

自治体がSDGs に取り組むことで、様々な情報へのアクセスが可能となり、企業連携等もスムーズに進めることが出来ます。



熊本県小国町

モデル事業

- ① 関係省庁に町や町の取組を認識して貰い易くなった。またSDGs に取組む自治体や企業との連携が密になった。
- ② 計画策定や事業完了までのスケジュール調整に苦労した。
- ③ SDGs の取組やSDGs 未来都市への選定が、まちづくりのいいタイミングやきっかけ作りになると期待した。

SDGs に取組んだり、SDGs 未来都市に選定されると、都市間連携やこれまでになかったチャンスや人とのつながりに恵まれるようになります。

